



(鳥ヶ森の河津桜。温かい日が続く3月10日過ぎには見頃になりました。) 3/12撮影

西地区コミュニティ運営委員会、今後の日程について

- 3月20日(月) 西コミ地区役員・部会員名簿の提出期限(各自治会長あて依頼)
 3月22日(水) 会計監査
 ※招集者: 正副会長・事務局長・正副会計・監事(監査)
 4月 5日(水) 19時~ 各専門部会(西公民館)
 ※高齢者部会 ⇒ 日中開催
 4月12日(水) 役員会(定期総会付議事項の確認・検討)
 ※書面による審議
 4月26日(水) 令和5年度定期総会(※書面による審議)

【役員】会長、副会長、正副会計、監事、理事(各地区の自治会長・公民館長及び西小PTA会長)
 各部会の部会長、副部会長、正副会計
 【総会構成員】各部の部会員、委員(各区の班の班長)及び役員

ご存じですか「拠点回収」(西公民館)

令和5年度の「那須塩原市ごみ出しカレンダー」が各家庭に配布されました。分別方法を確認して、それぞれのごみステーションに出していることと思いますが、そのほか、公民館を拠点回収場所として、白色トレイ、白色発泡スチロール、水銀使用製品(蛍光管、水銀を使用した体温計・血圧計など)、廃食用油の回収が行われています。



右の写真は三区町公民館敷地内に設置されている「資源ごみ収集所」です。新聞・雑誌・一般紙類・ダンボール・アルミ缶・スチール缶を資源ごみとして収集。売上金は自治会の収入にもなります。各自治会でも同様の取り組みをしています。出す際の注意事項などを確認して、活用してはいかがでしょうか。

西公民館に入って左側に、ご覧の様なボックスが並んでいます。左から「白色トレイ・白色発泡スチロール回収箱」「蛍光管・水銀使用製品回収箱」「廃食用油回収ボックス」です。なお、白色トレイ・白色発泡スチロールは、ごみステーションに出すことができます。(分別収集日の確認もお忘れ無く。)



~子どもを見守るまち宣言~『ながら見守り』にご協力を!

西地区コミュニティ運営委員会では、地域の宝である子どもを安心・安全に育む活動として、那須塩原市の「子どもを見守るまち宣言」に沿った活動に力を入れることとしています。

- 【宣言の内容】◆地域ぐるみで、登下校時の子どもの見守りを推進します
 ◆地域ぐるみで、子どもを見守る意識を高めます
 ◆地域と行政が連携を深め、子どもの見守りの輪を広げます

皆さん一人一人の意識の積み重ねが地域の安全を高めますので、散歩中・庭の手入れ中・買い物途中など、日常の中での『ながら見守り』にご協力をお願いします。

投稿

全日本サッカー選手権栃木予選と与一カップに出場

西小サッカークラブ（西SC）は3年振りに開催された全日本少年サッカー選手権栃木予選に出場しました。2/5（日）は鹿沼運動公園へ移動し鹿沼東光FCと対戦。選手達は頑張ってくれましたが、0-2の敗戦となり2回戦へ進出が出来ませんでした。今回も県央チームの壁を感じる結果となりました。1か月後の3/4, 5は、大田原グリーンパークで開催された与一カップに出場。1日目は、野原G、城山FC、紫塚FCと対戦しましたが、クラブチームの壁を感じ、3敗で終了になりました。



2日目は4位リーグでの参戦となり、西原FC、エスパシオ、共栄SCと対戦。2勝1敗の勝ち越しで終える事が出来ました。

6年生は卒業を前に頑張ってくれました。中学生になってからも、いろいろな事にチャレンジし頑張ってくれると思います。これからも皆さんの応援をよろしくお願いします。

（西SC 専属審判員 南赤田 樋口泰幸）

お出かけ情報

西地区界わい「桜の名所」

間もなくお花見の季節。桜の開花、今年は例年になく早いようですが、一足早く「西地区界わいの桜の名所」を紹介します。西地区の桜の名所と言えば、やはり烏ヶ森。マスクの着用も個人判断になったことでもあり、久しぶりに「のどを潤しながら」観るのが一番かも知れませんが、参道の桜のトンネルで「桜吹雪」に出くわせば最高かも……。千本松牧場の「桜のトンネル」は、入り口ゲートから約300mあり、樹齢80年になるソメイヨシノもあるそうです。休日はかなり混み合うようなので、平日に出向いた方が……。

写真で紹介するのは4か所ですが、そのほかにも個人のお宅の「見事な桜」などもあるかと思います。今年の春、思い思いの桜を楽しんでみてはいかがでしょうか。

三区町公民館



西公民館前通り



野崎第2工業団地



四区工業団地



西地区ではありませんが、野崎第2工業団地の「桜並木」は圧巻です。その距離は約1500m。樹齢40年近いソメイヨシノ250本が道路の両側に連なる風景は、正に圧巻です。

編集後記 令和4年度も新型コロナの影響で西コミの行事なども少なく「そすいの郷」の編集に苦労しました。そんな中、毎月第2日曜日16時から編集会議に参集してくれた広報編集部会員や関係者の方々に感謝申し上げます。3/13から「マスクの着用は個人判断」となりましたが、「場面ごとに着脱の判断を」とのこと。早く、以前の様な生活スタイルに戻って欲しいものです。（広報編集部会長 肥塚喜弘）